

水道屋のつぶやき

いつも地域住民の方々には御世話になっています、宏輝住設の梅谷です。

私は18歳で高校を卒業し、22年間この業種に携わり、独立して早14年になります。

その間、当時は営繕工事、今はリフォーム工事も経験してまいりました。たかだか22年間ではありますが、水道管の素材は何度も変わっています。鉛管、鋼管、ライニング鋼管、銅管、塩化ビニール管、ポリエチレン管、用途は様々であります、新築住宅で人畜無害のポリエチレン管が標準化されたのは、この5～6年前からです。

それ以前の配管は、主に宅内はライニング鋼管を使用していました。

耐久性は12～15年、今となってみれば築15年以上の住宅は、内面は赤錆の詰まった中を通ってきた水で、飲食・炊事、外側は結露による土台、柱の腐食、又、継手部分の漏水の可能性、見えない所での大問題は必ず発生しております。

県も市もその問題は知ってはいますが、当時はその素材で許可をしていたので、大々的に公表はしません。

それこそ、土台、柱は家の大改修、赤錆による水の人体的問題、公表するわけがありません。

今、私は、この地元で商売を続けさせて頂くために、高価な住宅設備のリフォームも快適な生活に必要ですが、売り上げ、利益よりもまず、お家の心臓、血管に当たる目には見えませんが、一番大事な宅内水道管の入替を、地域住民の皆様にご理解頂ければと思います。

有限会社 宏輝住設 代表取締役 梅谷

